

竹原駅前エリアが市民や来訪者にとって居心地が良く、歩きたくなる空間を創出するための取組について、地域の皆様に情報発信していきます。

👉 第2回 竹原駅及び駅前エリアデザインワークショップの概要

◆テーマ 『竹原駅のキャッチコピーを考えよう』 令和4年11月12日（土）

竹原駅のイメージを言語化して駅の将来像を共有することを目的に竹原駅のキャッチコピーをワークショップメンバーで考えました。

A チーム 「ふらっとマイホームステーション」

キーワード おかえりなさい、サードプレイス、お気に入り、電車がなくても

B チーム 「待ち時間がええ塩梅なんじゃ」

キーワード 町×待ち、文化×駅、憩い×集い×学び×遊び、魅力スポット

C チーム 「まちにまった竹原」「瀬戸内のへそ」「316+」

キーワード 潮町、塩街、みちひき、海・川・憩

これからの竹原駅のキャッチコピー
「わたしの“まち”を楽しむ駅」

👉 第3回 竹原駅及び駅前エリアデザインワークショップの概要

◆テーマ 「わたし“たち”にできることを考えよう」 令和4年12月12日（土）

竹原駅の将来イメージやキャッチコピー「わたしの“まち”を楽しむ駅」を実現していくために、竹原駅及び竹原駅前エリアで実証実験を実施します。

各チームにおいて、実証実験でどのようなことができるか検討しました。



【各チームでのワークショップの様子】

今回のワークショップで意見を踏まえ、MUJI移動販売やキッチンカーなどを集め
令和5年2月5日（日）に竹原駅及び竹原駅前エリアで実証実験を実施します。

詳細の内容については、竹原市のSNSなどで情報発信しますのでご参加ください。

☞ SMILE PARK たけはら2022のアクティビティ調査の結果について

10月14日～15日に竹原駅前エリアで居心地が良く、歩きたくなるための空間を創出するための**社会実験『SMILE PARK たけはら 2022』を開催**しました。

社会実験では、通行量や滞留時間、来訪者のアンケートなど様々な調査を実施しましたので、ご報告します。

2022年度

参加者 4,699人

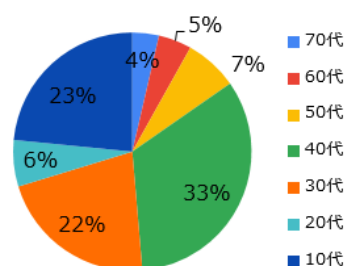
2021年度

参加者 2,461人

2020年度

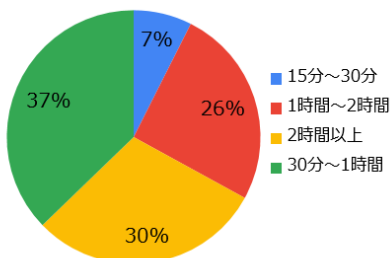
参加者 1,284人

年齢を教えてください。



N=111

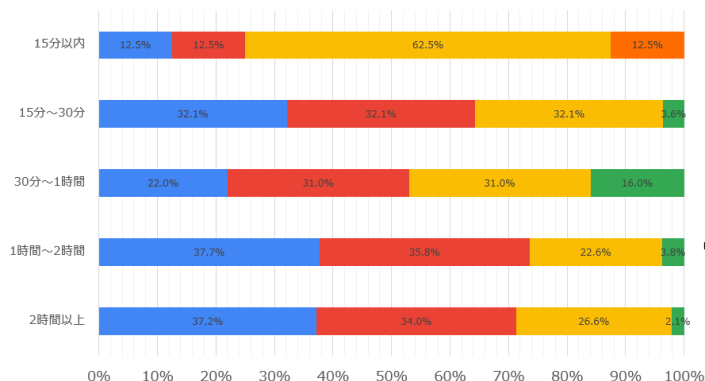
本日の滞在時間を教えてください。



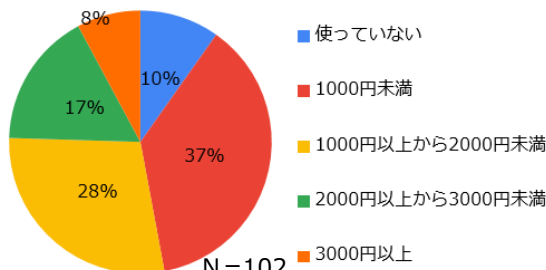
N=94

空間満足度と滞在時間の比較

■ 5/大満足 ■ 4/満足 ■ 3/普通 ■ 2/やや不満 ■ 1/不満足



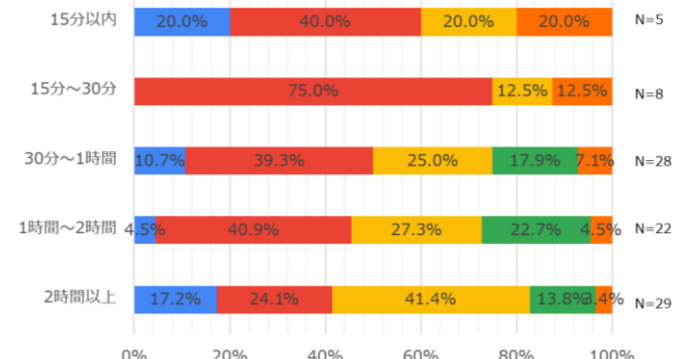
飲食・買物をした金額を教えてください。
また、予定はいくらですか。



N=102

滞在時間と飲食・買物金額の比較

■ 使っていない ■ 1000円未満 ■ 1000円以上から2000円未満 ■ 2000円以上から3000円未満 ■ 3000円以上



☞ SMILE PARK たけはらへの**参加者**は、認知度の向上やエリアの拡大、竹原中学校との連携などの影響により**増加**しています。

☞ 来訪者の**9割の人**たちが、**飲食などでお金を使っています**。

☞ 滞在時間と飲食・買物金額の比較では、滞在時間が30分を越えてくると1,000円以上使う人が増加傾向にあるので、**滞在時間30分が一つの目安**といえます。

➡ 今回の調査結果の詳細は**竹原市HP**等に掲載いたしますのでご覧ください。